

# ダイコクシロアリ

## 特徴と生態

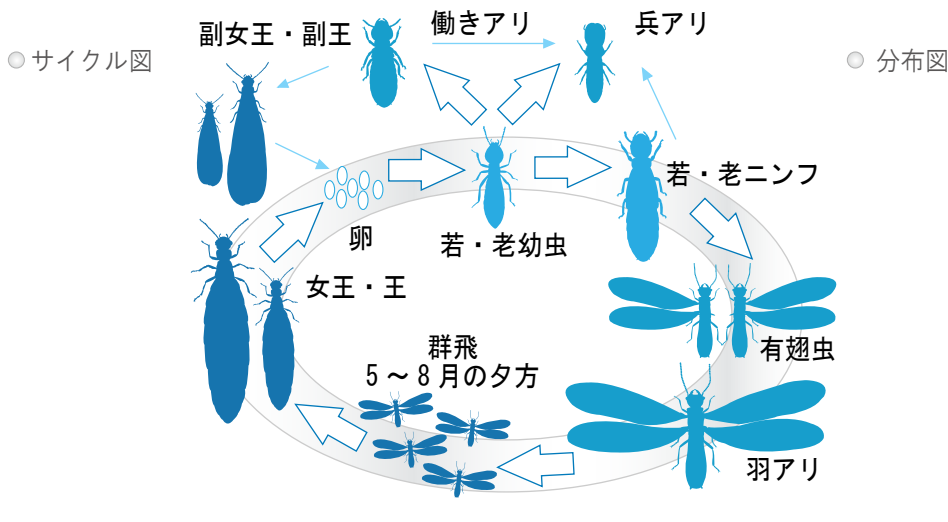


- 体長…女王アリ：10 mm  
羽アリ：5～6 mm  
兵アリ：4～5 mm  
働きアリ：5～7 mm
- 体色…羽アリ：黄褐色（羽の色は無色と・半透明）  
兵アリ：頭部は黒色、頭部以外にはほぼ乳白色  
働きアリ：乳白色
- 頭部がよく発達しており、前面から見ると裁断状で、体長の約 1/4 位の長さに及びます。  
外敵が侵入した場合に、頭部で坑道を塞ぐのが本種の特徴です。

湿気は嫌いですが、乾燥にきわめて強く、水がなくても生活ができるので、乾燥状態の木材でも分散して生息が可能な種です。コロニーは小さく特別に加工した巣や蟻道を作ることはありませんが、加害習性はアメリカカンザイシロアリによく似ていて、乾材に穿孔して小集団でくらし、孔道の口から砂粒状の糞を出します。群飛時期は、5～8月の夕方から夜の間で少しずつ何回にも分かれて群飛します。羽アリは、走光性で光に集まる習性があり電灯によく集まってきます。

## 分布と発生場所

- ダイコクシロアリは現在のところ沖縄県に集中しており、奄美大島以南、東京都小笠原諸島にも生息しています。本州にはまだ侵入していませんが、冬に暖房する地域ではさらに北方でも生息が可能です。



## 被害

- 家庭内では、ピアノ、木製ステレオ、古家具等を食害し、建築物では文化財や乾材を食害します。文化財害虫として知られています。

## 駆除

- 完全な駆除を行うためには、薫蒸処理が必要となり、個人での駆除は難しいため、専門業者に依頼されることをお勧めします。